

平成28年度 花園幼稚園 自己評価結果書

I 本園の教育目標

| | |
|------|---|
| 教育目標 | <ul style="list-style-type: none"> ●未来に伸びゆくこころ 体験活動を豊富にさせ、子どもの持っている能力に期待し大きく育てる ●心とからだの健康 豊かな感性を養うと共に健康な身体を育み育てる ●地域の実態に即応した教育をめざして 家庭が子どもによせる期待感や願いを保育に生かし育み育てる |
| 基本目標 | <ul style="list-style-type: none"> ●みんなと仲良くできる子(豊かな人間) ●自分のことは自分でできる子(自主・自立の育成) ●考えたり工夫できる子(能力の育成・特性の伸長) ●ものごとに感謝できる子(情緒の発達) ●元気よく遊べる子(健康) |

II 平成28年度の評価項目と評価

| 分野 | 項目 | 評価割合 | | | |
|---------|-------------------------------------|------|-----|----|----|
| 園運営 | 1 保育活動や園行事へ保護者や地域の人々の参加が図られている | 65% | 35% | 0% | 0% |
| | 2 家庭や地域へ適切に情報を発信している(HPや学校との連携等) | 80% | 20% | 0% | 0% |
| | 3 家庭と連携した防災・防犯・交通安全等の安全教育や訓練が行われている | 65% | 35% | 0% | 0% |
| 教師の努力目標 | 4 一人ひとりを見つめ、愛情を持ってより確かな教育を目指す | 55% | 45% | 0% | 0% |
| | 5 豊かな心と、よりたくましい人間性を育てるために努める | 15% | 85% | 0% | 0% |
| | 6 豊かな感受性を持つ | 20% | 80% | 0% | 0% |
| | 7 子どもの立場にたって、子どもと話したり遊ぶことができています | 45% | 55% | 0% | 0% |
| | 8 やさしさ、きびしさ、はげましのある教育に努める | 35% | 65% | 0% | 0% |
| | 9 積極的に遊びに参加し、元気に遊ぶ | 45% | 55% | 0% | 0% |
| 園児の具体目標 | 10 集団生活に慣れ、ルールを守り基本的な生活習慣を身につける | 55% | 45% | 0% | 0% |
| | 11 どんなことも、さいごまでやり遂げ、みんな達成感をあじわう | 40% | 60% | 0% | 0% |
| | 12 集団での遊びに喜びを感じ、安全に遊ぶ | 35% | 65% | 0% | 0% |
| | 13 思いやりのある心、命の大切さを知る | 35% | 65% | 0% | 0% |
| | 14 さまざまな経験をし、豊かな心を持っている | 45% | 55% | 0% | 0% |
| | 15 教師、友だちらと感動を常に共感している | 55% | 45% | 0% | 0% |

A: 良くできている B: できている C: あまりできていない D: できていない

Ⅲ 学校評価委員による意見 <評価委員:学識経験者1名、元保護者(元PTA会長)4名、現PTA会長1名>

- ・園全体としての運営面は安全面からみても問題ないと感じる。
- ・先生同士、縦・横の繋がりを深め、話しやすい、相談しやすい、学び合える良い環境作りが大切だと感じた。
- ・防災への取り組み意識が高く、子ども達にも伝わっている。
- ・個性の違う子ども達に対し、一人ひとり対応策を検討し、その子に合った教育が考えられている。
- ・交通安全指導に関して、保護者が参加出来る回数を増やし、保護者も交通安全への意識が高まると良い。

Ⅳ 園の反省・改善点

- ・子ども達の気づきや閃きを受け止め、更に膨らませるよう自分自身の知識や経験を豊かにしていく。
- ・正すのではなく受け入れ、一人ひとりの個性を尊重する。
- ・安全に遊ぶために、子ども達への声掛けの仕方や、環境設定などを見直していく。
- ・担任だけでなく、他からも認められ、褒められる喜びを感じ、満足感や達成感を味わうことも必要であり、大切だと感じる。
- ・子ども達同士で遊んだり、本の読み聞かせをしたりしていく中で、相手を思いやる心や、命の大切さなどを教えていく。
- ・静と動のメリハリある保育を心掛けていく。

Ⅴ 財務状況

公認会計士監査により、計算書類は、学校法人会計基準(昭和46年文部省令第18号)に準じて、平成28年度の経営状況及び財政状況の全てにおいての重要な点において適正に表示していると認められている。